



茨城ワイズメンズクラブ
2022 年度-2023 年度
4 月報 Vo 1.175
強調月間テーマ

L T

THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI CHARTERED 2006



国際会長主題 「Into the next 100 years fellowship in pac」
アジア太平洋地域会長主題..... 「Beyond self and be the change」
東日本区理事主題..... 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
関東東部部長方針「新規技術を縦横に駆使し、効率を重んじる。すべては、プレミアムな価値と体験を生むために」
茨城クラブ会長主題..... 「なかま・つながる・みどりの」

<例会プログラム>

と き:2023 年 4 月 7 日(金)
19:00~21:00(最大)
と こ ろ:筑波学園教会礼拝堂
zoom によるハイブリッド開催
司 会:熊谷光彦
開会挨拶と点鐘:熊谷光彦
ワイズソング:「いざ立て」
ワイズ信条:
1、自分を愛するように隣人を愛そう
1、青少年のために YMCA に尽くそう
1、世界的視野をもって
国際親善をはかろう
1、義務を果たしてこそ
権利が生ずることをさたろう
1、会合には出席第一
社会には奉仕第一を旨としよう
今月の聖句・祈祷:熊谷光彦
入会式:大澤篤人さん
ハッピーバースデー &
おめでとう結婚記念日:
スマイル:
茨城 Y M C A 報告:和田賢一
次回例会案内:熊谷光彦
閉会挨拶と点鐘:熊谷光彦

「楽しいことを提供したい」

茨城 YMCA 柴田 悠一(みりんリーダー)

どうも、はじめまして。去年 4 月から正職員として働き始めたみりと申します。私の行動原理を一言で言い表しますと「楽しいことがしたい」この一言に尽きます。「自分にとって楽しいことは、みんなにとって楽しいことなのか？ あの子にとって楽しいことなのか？ 楽しくなさそうな子はいないか？ もっと楽しいことは出来ないか？ もっと楽しいことをするにはどうしたら良いか？」そればかり考えています。

私の学童保育の現場は、つくば市立の児童館(茨 YMCA 業務委託)です。そこを利用する人たちは、YMCA と繋がりのない一般の方が大多数を占めます。学童保育クラブ員の利用者とは別に、児童館として一般の方の受け入れもしています。また地域の児童館ということもあり、午前中は子育て中のお母さんと未就学児童も来てくれます。

私の理想は児童館に来た全て



☆今月の聖句☆

神よ、わたしの叫びを聞きわたしの祈りに耳を傾けてください。心が挫けるとき地の果てからあなたを呼びます。高くそびえる岩山の上にわたしを導いてください。

(詩編 61 編 2~3 節)

の人に「なんか楽しかった」と思ってもらえることです。とはいえ、親御さんや利用者さんからみれば私はプロそのものです。楽しいだけじゃすみません。「安全を担保するためにどうしたら良いか？ なにが危険か？ どう危険なのか？ どこを注意したら良いか？ その他の問題はなんなのか？ どう改善したら出来るか？ 改善した結果その遊びの楽しさを残せるのか？ でも危ないことと楽しいことってイコールだよー」の思考の中で日々悪戦苦闘しております。

幸い児童館のいとちゅう館長は、ある程度やりたいようにやって良いよ(と私は解釈していますw)と言ってくれる度量のある方なので、どうかこうにか楽しい理想の児童館の夢を追っかけていられます。私の理想とする姿は、パフォーマー(演者)でクリエイター(創作者)でオーディエンス(観覧者)でフレンドリーな協力者です。それは、まだまだ遠い未来のお話しです。最後に私もクリスチャンの端くれなので、私が聖書って凄いと思った有名な聖句を。「そればかりか私たちは苦難をも誇りとしています。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを私たちは知っているからです。」あ〜、楽しいことがしたい。

【例会報告】

3月例会は、3日19時より筑波学園教会礼拝堂にて開催いたしました。ワイズメンバーに加えて、茨城YMCAのスタッフのみなさんや現役の学生ボランティアリーダーにも参加いただき、賑やかな例会となりました。久しぶりにカレーも振る舞われました。



卓話では、ゲストスピーカーに茨城YMCA学生ボランティアリーダーの鈴木夏乃子さん(セサミリーダー)



をお招きして、大学生活4年間におけるYMCAとのかかわりについて、たくさんのプロジェクト映像も使ってお話ししていただきました。学生時



代の大半がコロナ禍に重なり、多くの制約で野外活動もままならないなか、それでも子どもたちと真摯に向き合って茨城YMCAの野外活動を支えておられたことがよくわかるプレゼンテーションに感動しました。

ご卒業をされてもYMCAでの経験を生かして、お仕事で活躍されることを願います。

3月例会(ハイブリッド開催)出席状況
 会員:7名(稲本、金子、熊谷、村田、宮田、柳瀬、和田)、スタッフ:3名(大澤、竹内、櫻井)、リーダー:4名、ゲスト:1名、出席総数:15名、在籍者会員数:7名、会員出席率:100%

(書記 村田)

【他クラブイベント参加報告】

21日(春分の日)、東京グリーンクラブの50周年記念イベントが開催され、茨城クラブから会長の熊谷と会計の柳瀬(関東東部国際交流事業主査)が出席いたしました。茨城クラブの例会にも参加いただいたことのあるグリーンクラブメンバーの遺影の前で祈りを捧げ、軽食をいただきながら、コロナ禍でなかなかお会いすることが難し



かった懐かしい顔ぶれとも歓談することができました。とくにピアノとバイオリンとチェロの生演奏が素晴らしく、とても印象に残りました。

(会長 熊谷)

【事務報告】

会計報告 (3月4日～4月6日)

前月繰越金	¥ 53,464-
会費	¥ 50,000-
例会スマイル	¥ 3,000-
寄付・献金	▲ ¥ 1,000-
次月へ繰越	¥ 105,464-

会員みなさまにおかれましては、会費の前納にご協力を賜りたく願います。

(会計 柳瀬)

【茨城 YMCA 報告】

3月の報告

- 1日 学童研修会 (障がい)
- 4日 きずなバザー
- 4日 障がい児者自立支援たんぽぽクラブ
- 4日 高学年デイキャンプクラブトムソーヤ
- 5日 リーダースキー実技トレーニング
- 6日 早天祈祷会
- 7日 主任会
- 11日 牛久学童新入生オリエンテーション、保護者会
- 11日 みどりの学童保護者会
- 11日-12日 フットサル合宿
- 12日 小学生デイキャンプクラブつくわい
- 15日 職員会
- 18日 みどりの学童新入生オリエンテーション
- 18日-19日 東新井学童卒業旅行(6年生主催)
- 18日 中高生デイキャンプクラブユースクラブ
- 19日 高学年デイキャンプクラブトムソーヤ
- 21日 青い羽根学習教室・懇親会
- 23日 幼保園卒園式
- 24日 幼保園新入園児1日入園
- 24日 東新井学童6年生お別れ会
- 24日-25日 牛久学童お泊り会
- 25日- スプリングスクール
- 25日-28日 春のスキーキャンプ
- 28日 全国子ども会議 (アフタースクール部会)
- 31日 つくば・牛久オリーブ園終了式

4月の予定

- 1日 幼保園・つくばオリーブ保育園入園式園
- 3日 牛久オリーブ園入園式
- 3日 全学童新入生歓迎会
- 7日 スプリングスクール
- 10日 早天祈祷会
- 16日 かすみがうらマラソン給水ボランティア
- 16日 中高生デイキャンプクラブユース

17日 主任会

19日 職員会

22日 障がい児者自立支援たんぽぽクラブ

(連絡主事 和田)

【編集後記】

あっというまに3月も過ぎ去り、そして桜も散ろうとしています。振り返れば2020年は、ひどくゆっくりと世界が動いていたように感じましたが、2021年、そして去年とまた時計の針は回り始め、いまはCovid-19がやってくる前のせわしなさに戻ったような感覚です。

茨城クラブも今年はずいぶん

新しい入会者を迎えることとなります。若返りによって、ワイズの活動にも変化が生まれることでしょう。5年後、10年後の茨城クラブは、いまとは全く違ったメンバー、全く違った活動になっているかもしれません。でも、それくらいの変化を受け入れる覚悟がなければ、次の時代に続いていけないのだという危機感を持ってやらねばならぬとも思っています。

(書記 村田)



軒下に巣を作られてしまいました。調べてみたら、どうやらキジバト。雌雄が昼夜交代で卵を温めるのだそうです。

巣に数十cmくらいまで近寄っても、まったく逃げないので、ときどき観察していました。

やがてピーピーと小さな音が聞こえてきました。元気な雛が2羽、生まれていました。そのことを人に話したら「良かったね、今年はきっといいことあるね」って…。これも調べてみたら、どうやら家に鳥の巣ができるのはその家にとって吉兆とのこと。はてさて、その真偽は…?

(会長 熊谷)



いざ立て

ONCE MORE WE STAND

(フィンランディア) より

Words by Presu. Emeritus Paul Wm. Alexander

淵田多穂理 訳詞

1. いざたて、こころあつ
 2. うたえ、こころひと
 1. Once more we stand, New zeal our hearts im
 2. As now we sing, In com-rade-ship more

くし — 手をあげ ちか い あら
 つに — ともがき ひろ がり ゆ
 bu ing; —; we raise our hand, Our ser-vice pledge re-
 bind ing; —; Our love we bring, Re-ward in friend-ship

たに われらのモットーまもる
 きて とおきもちかきもみな
 new-ing, Ne'er-to de-ny our — mot-to's — claim
 find-ing. To ev-'ry Y's men — far. and — near

— ふさわし、そのなワイズメン
 — ささげて、たつやワイズメン
 — Y's men in Fact as well — as name.
 — we pledge de vo tion most — sin cere.

たえせず、めあてのぞみ
 さかえと、ほまれゆたか
 Al-ways our ob-jects — to pur — sue
 Glo-ry and pride Y's — men to — be

— のみをささげつくさん。
 — まことはむねにあふれん。
 — we con-se-crate our selves. — anew.
 — Fill ev-'ry heart with loy - al - ty.